

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年3月1日

事業所名 運動療育型児童デイ ぽぷらの樹 住吉

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		定員数に合った広さで十分な療育が行えている	個別療育と集団療育のスペースを分けているが個別スペースで走ってしまうことがあるため、机等備品の移動を適宜行っている
	2	職員の配置数は適切である	8		人員配置基準に準じた配置ができています	人員基準に問題ないが、支援内容に合った人材の確保に努めている
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8		個別及び集団療育の活動場所を分けて支援している。また、社内建築部による設備のバリアフリー化、修繕が早急になされている	玄関先にはスロープを設け、バリアフリー化に努めている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8		毎日清掃を行い清潔、衛生を保持している。清掃部によるチェックも行っている。また、活動に合わせた設備の移動を適切に行っている	左記の内容を継続することで、衛生面、安全面の向上に努める
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8		会議、研修、朝・終礼、面談等の実施で常に業務改善に努めている	非常勤職員にまで参加してもらい、事業所一丸となって行っている
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		評価表以外にも独自のアンケートや懇談の実施で業務改善に努めている	左記の内容を継続し、保護者への信頼、安心、満足度向上に繋げていく
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8		ホームページにて公開している	これまでは事業所内に掲示、今回よりホームページ上で公開し、全職員で共有していく
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		8	現在は第三者委員は設けていない	現在のところ行っていないが、今後は必要に応じて導入を検討し、業務改善に努めていく
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	2	社内研修の実施及び社外研修への奨励を行っている。社外研修で学んだことを社内研修でも行っている	非常勤職員へももっと研修機会を設けていく
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		定期的な懇談、送迎時や必要に応じて電話等でニーズや課題を聞き取り、支援計画に反映している	成長や環境により変化するニーズや課題に都度対応しながら行っていく
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8		所定のアセスメントシート及び生活状況確認表を使用している	コース別評価表を用いて、発達課題や目標達成度をより理解した上で療育を行っていく
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8		ガイドラインに沿った項目から選択し、具体的に支援内容を設定している	家族支援や地域支援を取り入れた支援にも力を入れていく
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8		支援目標、支援内容に沿って支援している	全職員周知のもと、支援を行っている
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8		全職員で立案、検討してプログラムを作成している	全職員にアイデアを募り、反映させながらプログラムを変化させている
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		利用者の要望も取り入れながら、常に新しい活動の考案に努めている	個々の課題やニーズに応えられる活動を楽しい形に工夫しながら提供している
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	8		生活面の訓練、学習等個別活動と運動、リトミック等集団活動を組み合わせ、子どもの状況、保護者のニーズに沿って支援計画を作成している	成長に伴い変化する課題やニーズに沿って個別活動と集団活動を組み合わせることで支援計画に反映させている	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		朝礼にて送迎、支援内容、留意点、役割分担について確認した上で支援を行っている	朝礼の重要性を意識し、その日の保護者からの連絡や支援中に想定されることもしっかり伝達している
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8		終礼にて支援の振り返りを行い、支援(SST, ABA)結果や問題点・改善点等話し合い、情報共有している	その後の経過についても話し合い、更に改善や支援の質の向上に努めている
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		ケース記録、ヒヤリハット、業務改善等を記入し、支援の検証・改善につなげている	支援の成果や課題、問題点等について常に話し合いながら適切な支援を行っている
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8		必要に応じて少なくとも半年に一回行い、支援計画の見直しを行っている	左記の内容を継続し、適切な支援計画の作成を行っている
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		児童発達支援管理責任者が担当者会議に出席している	左記の内容で継続していく
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8		必要に応じて連携を図り、情報共有を行っている	左記の内容で継続していく
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		8	医療的ケアが必要な子どもの利用はなし	医療的ケアが必要な子どもの利用はなし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		8	医療的ケアが必要な子どもの利用はなし	医療的ケアが必要な子どもの利用はなし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8		必要に応じて連絡を取り、情報共有と相互理解に努めている	左記の内容で継続していく
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8		必要に応じて連絡を取り、情報共有と相互理解に努めている	左記の内容で継続していく
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		8	現在は児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携していない	現在は行っていないため、より専門的な支援ができるよう助言や研修機会の導入を検討していく
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		8	現在は保育所や幼稚園等との交流機会を設けていない	現在は機会を設けていないため、保育所や幼稚園、障がいのない子どもと幅広く交流する機会を作っていくよう検討していく
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		8	現在は自立支援協議会子ども部会等には参加していない	活動内容についての情報を得たのみにとどまっているため、今後は参加する機会を作っていくようにする
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		送迎時や連絡帳、電話にて日々情報交換を行い、必要な支援につなげている	保護者だけで悩みを抱えず、話しやすい環境や信頼関係を構築しながら行っていく
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7	1	保護者からの相談に応じ、家庭における困りごとに対する対応方法や課題に対する支援方法を伝えている	保護者向け研修会の開催を検討していく	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		契約時や変更時には必ず説明を行い、不明なことは都度質問に応じて行っている	都度疑問や質問に応じながら、不明なままにせず、必ず同意を得るようにしている	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8		支援計画書を提示し、支援目標、支援内容の説明を行った上で保護者から同意を得ている	左記の内容で継続していく	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		必要に応じて送迎時や電話、また定期的に行っている懇談時に相談援助を行っている	左記の内容で継続し、安心して通所してもらえるよう努める
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		8	保護者会は行っていないが、保護者参加型の行事を開催している	今後は保護者同士の連携が取れる取り組みを検討していく
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8		全職員で対応を検討、子どもや保護者に変更や改善についての報告を行い、迅速かつ適切に対応している	左記の内容で継続していく
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		定期的な広報誌の発刊、毎月行事予定表の配布及び行事によっては別途詳細の案内を配布している	Instagramやホームページ上のブログにて活動内容等を発信している
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8		個人情報書類の厳重な保管(鍵付きロッカーや金庫)及び社外(退職者含む)への情報漏えいを固く禁じている	左記の内容で継続していく
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		分かりやすい言葉や視覚的支援等の配慮を行っている	左記の内容で継続しつつ、更に意思疎通や情報伝達のために分かりやすい教材等を探し、配慮に努めていく
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8		事業所の行事はSNSやチラシ等の宣伝にて広く周知、招待できるようにしている	コロナの状況を見ながら、地域住民への行事への招待等、開かれた事業運営を行っている
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8		各マニュアルを策定して事業所内に掲示し、全職員に周知し、定期的に発生を想定した訓練や研修を行っている	保護者への各マニュアルの周知を行っていく
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		年二回以上、職員と子どもで災害時に備えて避難訓練を行っている	左記の内容で継続していく 災害用備品の保管も行っている
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8		契約時に服薬、てんかん発作、アレルギー等医療面の確認を行い、更に変更があった場合も適時伝達してもらうよう徹底している	左記の内容で継続していく
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8		契約時や都度保護者からの伝達を受け、指示に基づく対応を行っている	左記の内容で継続していく
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		ヒヤリハット報告書をもとに全職員で共有、改善案を周知及び会議でも話し合っている	ヒヤリハット会議を行い、事故や危険を未然に防ぐよう努めている
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		社内及び社外研修にて全職員が学ぶ機会を設けている	定期的に行うことで、全職員が研修参加できるよう努めている
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8		車椅子の子どもに対するベルトの固定など保護者への同意書の作成及び支援計画に記載している	左記の内容で継続していく

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。